

聖武天皇即位一三〇〇年を

みんなでお祝いしよう

特別展「聖武天皇が即位したとき」関連イベント

ナイト★ サイト★ ミュージアム

Night★Sight★Museum

01 大住隼人舞・大嘗祭音楽上演

MUSIC & DANCE

おおすみはやとまい たいじょうさい

18:30～1時間程度

大極門にて大嘗祭にちなみ、雅楽師・邦楽演奏家による音楽および大住隼人舞を上演します。
※雨天時の演奏・隼人舞は、平城宮跡資料館講堂にて実施します。

02 灯りの遺構表示 再現悠紀殿

ILLUMINATE

ゆきてん

17:00～(東区朝堂院)

東区朝堂院にて見つかった聖武天皇の「大嘗宮跡」の位置を一夜限りの灯りで地上に表示します。
※ご来場の際は、懐中電灯等の灯りをご持参ください。

03 展示夜間開館(20:00閉館)

OPEN

平城宮跡資料館・復原事業情報館

平城宮跡資料館、復原事業情報館を夜間開館します。

04 大嘗宮跡ナイト ツアー

TOUR

平城宮跡資料館にて当日16:30～受付

東区朝堂院までをご案内するツアー、大嘗宮跡現地をめぐって古代に思いをはせましょう！(先着50名様)

聖武天皇が平城宮で即位してから

今年でちょうど一三〇〇年。

この記念すべき年に

聖武天皇の大嘗祭関連の

木簡が出土しました。

平城宮跡の東区朝堂院では

この聖武天皇の大嘗宮の柱八が

発掘調査で見つかっています。

奈良時代に聖武天皇がとりおこされた

大嘗祭の遺跡で

「聖武天皇が即位したとき」を

感じてみてください。

たいじょうさい 大嘗祭とは？

天皇が即位後初めて行う新嘗祭のことで、五穀豊穡や国民・国家の安寧を祈願する収穫祭です。
11月下旬の夜に飯の宮、大嘗宮を建て、新穀やお酒などを神々に供え、天皇自身も同じものを食べる儀式です。

2024 11.23 (土) (祝)

17:00-20:00

特別史跡平城宮跡

(平城宮跡資料館・大極門前・東区朝堂院)
入館無料・入場無料

主催：独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所、平城宮跡情報センター 共催：奈良女子大学
協力：C/Aで自由な歩み、Aet VIVAア・リエール、大住隼人舞研究会、奈良女子大学復元建築プロジェクト、大阪府立女子大学 小粒政司研究室、株式会社Kousido
NPO法人平城宮跡サポートネットワーク、平城宮跡実行委員会
音楽監督：藤原 明子(ピアニスト、作曲家、音楽プロデューサー) 美術監督・舞台監督：菊池 亨(美術工芸家、アートプロデューサー)

EVENT MAP

至近鉄大和西大寺駅

当日は、懐中電灯などの
灯りを持ってきて
欲しいのじゃ



ツグじい



01 MUSIC DANCE **大住大生舞 平城宮跡にて初演舞!**
雅楽師・邦楽演奏家による大嘗祭音楽
18:30~1時間程度

大住大生舞保存会 (京田辺市指定文化財(無形民俗文化財))
大住大生は、今から1300年前ほどに九州の大隈地域から、現在の京田辺市大住地域に移住した人々。平城宮の嘗催や芸能活動を行い、朝廷に奉仕していたといわれています。京田辺市大住にある月読神社(京田辺市大住地平)と天住神社(京田辺市大住岡村)で、毎年10月14日の夕刻に奉納される「大住大生舞」は、昭和46年に大住地区の住民が中心となって、鹿兒島県御宿院(けいしゅういん)町(現鹿兒島市)の日枝神社に伝わる大住大生舞をモデルに復元しました。昭和50年には京田辺市(現京田辺市)の無形民俗文化財に指定。その翌年に大住大生舞保存会が結成され、現在まで受け継がれています。舞手・楽人は大住地区の中学生たちが交代で担っています。

三浦 元則 (華楽、謡、和琴)

広島県呉市出身。母や父の影響で幼少より音楽に親しみ、父・三浦清造に華楽の手ほどきを受ける。華楽・古代歌謡を東洋雅楽、右舞を多忠輝(宮内庁式部職楽部)各氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業専攻卒業。同大学講師(2016-2023)。古曲の演奏はもとより、現代音楽の初演、舞台の音楽監修、レコーディング、メディア出演など活動は多岐に亘る。近年ではエミー賞を受賞したドラマ「SHOGUN」等、Tim Heckerワールドツアーなど国内外の音楽プロジェクトにも多数参加している。「東京家所」/「日本音楽家所」所属、「楽家協会」運営委員。

梅田 真史 (能楽、謡)

愛知県北名古屋市出身。9歳より華楽を習い始める。天理教育学園高校、天理大学文学部 歴史文化学科卒業。天理大学在学中、舞楽部所属。笛、尺八、琴を専門とする。奈良県天理市を拠点に愛知県、岐阜県ほか、国内はもとより、海外公演多数出演。

和田 篤志 (笙、和琴)

音楽家制作者であり、雅楽演奏家。より良い楽器の制作のために自身の演奏技術の向上に不可欠という信念から京都のみならず全国各地で積極的に自楽活動を行う。Hideaki BUNNO GAGAKU Ensemble 京都公演【尺八鼓の舞楽】を企画運営、出演。笙、右舞を元宮内式部職楽部首席家長 豊家秋氏に師事。

石川 憲弘 (復元琴)

京都大学工学部卒業。専攻を生田流古田典三郎、20絃琴を野坂操寿、三絃を先代野坂操寿、17絃琴を宮本幸子、指揮を植田龍太郎に師事。NHK邦楽技能者育成会第26期首席修了。文化庁芸術家国内研修生として作曲を牧野由多可に師事。NHK邦楽オーデション合格。第20回宮城城守曲コンクール作曲部門にて2位入賞(1位なし)。高校音楽教科書(教育出版)の日本音楽の項執筆。NHK邦楽技能者育成会で講師を務める傍ら、数多くの海外公演やCD録音を行う。邦楽アンサンブル「昴」主宰、やまなし邦楽合奏団「鳴鶴」指揮者。NHK邦楽技能者育成会同窓会合奏団「響」音楽監督・指揮者。若松ジュニア新響「はじめての和楽家」編者。CD「樹木屋」「風鼓」「森のささやき」「和楽園」他多数。

石川 利光 (尺八)

大阪府出身。琴古流尺八および古典本曲を田嶋龍土、そのち横山勝也に師事。古曲を五世若木古吉に師事。NHK邦楽技能者育成会第37期首席修了。NHK邦楽オーディション合格。平成7年度文化庁若手インターンシップ研修員。平成8年度大阪府芸術奨励助成金、平成9年度第3回全国邦楽コンクール奨励賞受賞。「風田園」制作員。「管絃流渡」「秋の夜長の尺八本曲」等のコンサートや尺八講習会をプロデュース。1990年よりアメリカ、オーストラリア、ベルギー、ドイツ、イギリス他各国にて公演。現在は、古典本曲および植田龍土曲を中心としたソロ活動に加え、米村幹生、岡田道明と尺八三本会「風鳥」・尺八石川憲弘と「石川プロム」。観見由枝、竹山順子と「ミツ星会」を結成し、CD録音、放送及び積極的なコンサート活動を行っている。

音楽監督・演奏者コーディネーター：榎原 明子 (ピアノ、作曲・編曲)

奈良市出身。神戸大学発達科学部人間行動・表現学科卒業。Casa Verdi Master Pianoforte Class 修了。奈良女子大学人間文化総合科学研究科博士前期課程人間科学専攻修了。ピアノ演奏・作曲編曲のジャンルは多岐に渡り、特に伝統芸能/民族音楽との共演を通して日本人としての音楽表現を探求している。現在、奈良女子大学人間文化総合科学研究科博士後期課程人文科学専攻にて、縄文・弥生・古墳時代の日本の楽園について研究中。飛鳥広庭大使。

奈良女子大学復元楽器プロジェクト (復元楽器)

古代日本の音楽・楽器や復元楽器製作・演奏に興味が湧いた様々な分野を専攻する奈良女子大学在学生が集い2022年に発足。初年度は縄文・弥生時代の土器作り、2023年度は平城京出土土器を作るワークショップを奈良文化財研究所との共催にて開催。今年、初期メンバーの辻畑花、西村江里菜が出演。顧問：宮路淳子 奈良女子大学大学院 人文科学系教授

02 ILLUMINATE **聖武天皇「大嘗宮跡」
灯りの構構表示
メタルアートワーク
再現悠紀殿
17:00~**

**悠紀殿 再現
美術監修：菊池 孝** (美術工芸家、アートプロデューサー)
大田市生まれ、奈良市在住。大阪芸術大学造形形ゼミナール卒業。カルフォルニア美術工芸大学サマーセミナー修了。1980年より日本、韓国、ドイツ、イタリア、アメリカ他、国内外で個人・グループ展を多数開催。官公庁、美術館、商業施設、ホテル、企業、個人コレクター等、国内外にて多数依頼。2022年より、日本古代復元楽器の制作を開始。大塚博雄女子大学非常勤講師。飛鳥広庭大使。

映像制作：寶田 海奈 (画家)
奈良市在住。京都市芸術大学大学院絵画専攻修士課程修了。個展「Scapegoat」(awaya books) [2021]をはじめ、心斎橋ギャラリールーブルにて個展開催。記憶と時間を探るような作品をプレスコ技法や、油絵、陶器などで制作。

アートワーク友情応援制作：
朴 東暉 (城南アートセンターキュレータ美術館(大韓民国)部長、奈良市観光大使)
小林 政司 (大阪樟蔭女子大学 化粧ファッション学科教授)
今西 智洋 (グリーンボイ大服株式会社 代表取締役社長)
石橋 亜弥子 (株式会社サードリバー・セキュリティ)



独立行政法人 **奈良文化財研究所**
国立文化財機構
平城宮跡資料館
https://www.nabunken.go.jp/teijo/museum/
訪問：0742-104-6753 (お電話受付時間内)